

令和3年3月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和3年3月24日（水）15時～16時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞、読売新聞、毎日新聞、河北新報、
置賜日報、NHK、SAY、YTS

<市>市長、秘書広報課長、健康課長

4 記者倶楽部からの質問事項

(1) ワクチン接種のスケジュールや接種場所などの計画をお聞かせください。

(2) 上杉まつりが延期になりましたが、その見解をお聞かせください。

(3) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和3年3月の定例記者会見を開催させていただきます。初めに、市長から発言がございます。

○市長

はい。この度の定例記者会見のご質問は2件でございました。

まず第1点目の、「ワクチン接種のスケジュールや接種場所などの計画をお聞かせください。」ということであります。ワクチンの接種であります。何よりも国が定めた接種順位に基づいて接種を実施することにしています。優先順位につきましてはもう皆様ご承知のとおり、まず医療従事者からはじまりまして、65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する人、また高齢者施設等の従事者、それ以外の人となっております。

ワクチン接種に係る問い合わせに対応する米沢市新型コロナウイルスワクチンコールセンターを、3月の22日に開設をしたところです。そして、接種券、クーポン券ですが、4月のワクチン供給量が少ないことから、4月12日の週に1箱、975回分、これは人数に直しますと半分ですので487人分が供給されることになっておりますし、4月の26日の週にはもう1箱、975回分、これも同じであります。487人分のワクチンが供給される予定となっております。こういったことで、まず

高齢者、医療従事者の方々については国の対応になりますので、米沢市としての接種については、ワクチン量が少ないものですから、高齢者も段階的に接種を進めていかなければならないということになります。

当面、85歳以上の方に、今申しあげました4月12日の週に入ってくる975回分と、4月26日の週に入ってくる975回分の接種について、クーポン券を郵送して予約をしていただくこととなります。しかしその対象人数が5,900人以上おいでになりますので、全ての方がお申込みにならないとしても、圧倒的にワクチンの量が少ないというのが現状であります。接種については集団接種と個別接種ということで、この点につきましては医師会の先生方と随時連絡を取りながら今進めているところであります。どちらを進めるかというようなところで、医療機関の個別接種を中心にするのか、色々話し合いをさせていただきましたが、何しろ当面入ってくる量が少ないものですから、混乱を避けるという意味もございまして、4月12日の週分、26日の週分につきましては集団で接種をするというようなことにしているところであります。

集団接種につきましては、すこやかセンター1階において接種をいたします。医師2名体制で、1日約390名の接種を予定しているということでもあります。当面そういったことの対応をしていただきまして、ワクチンが今後どのように米沢に入ってくるのか、これは米沢だけの問題ではなく国全体の問題でもありますので、そういったものを見ながら、高齢者の方々から接種を進めていくという段取りをしているところです。

なお、先ほどコールセンターはすこやかセンター内に開設しましたとお話ししましたが、この集団接種の模擬訓練については4月10日を予定しているということでもあります。

今後、国からのワクチンの供給量がはっきりし次第、それに対応するように医師会側ともしっかりと連携をとっていくという状況です。細かい質問がございましたら、ワクチン対策室室長も来ておりますので、お聞きいただければと思います。

2番目は「上杉まつりが延期になりましたが、その見解をお聞かせください。」ということです。もうすでにご承知のとおり、上杉まつりについては四季のまつりの一環として、所管は米沢観光コンベンション協会であります。実行委員会を毎回立ち上げておりまして、その中で内容的なものも含めて対応しているというのが今日までの現状でした。

非常に残念なことに昨年度も中止ということになりました、その大きな要因といたしましては、コロナ感染が米沢でも少し出ているという状況、また、中止の判断をしたときは、1都3県に緊急事態宣言が発令されている最中でした。春のおまつりは、川中島合戦に代表されますように、県外からのお客様が圧倒的に多いおまつりです。4月29日の民謡流しから、5月3日の川中島まであるわけではありますが、市民ボランティアを中心に開催してございました、アンケート等の結果、例年ですと5,000名弱の市民の皆様方を中心におまつりが構成されてございました。

そして、おまつりに対しての意向調査をした際には、大体6割くらいの参加団体、メンバーの方々が「参加は難しい」という状況になりました。

上杉まつり実行委員会としては、やはり緊急事態が発令されている、またそれを受けておまつりに協力、参加していただくのも4割程度になっているという現状もありまして、中止という判断をしたとお聞きしております。中止と申し上げましたが、延期ということで、収まった段階で春の部分をどこまで再現できるかではありますが、予定としては秋頃には何とかやりたいという実行委員会の方針のようであります。

ただ、今年になりまして雪灯籠まつりも急遽中止になってしまいました。これもあって春の上杉まつりに期待をしていたのですが、これも延期というかたちになってしまいました。四季のまつり実行委員会の委員長、会長としては非常に残念だと思えますし、また米沢市長としても、米沢の春の名物でありますので、それが開催延期になったということは非常に残念だと思っております。何よりもコロナ禍の今、大事なのは市民の気持ちが少しでも明るくなること、これから桜も咲くわけでありまして、そういった面で自粛と言われておりますが、少しでも明るい気持ちになっていただくのが、こういったイベント、おまつりでないかと私は思っておりましたので、延期になったことについては非常に残念に思っているところであります。

ただ、実行委員会で、人を大勢集めてどうこうというものは難しい訳ではありますが、それに代わるものを考えているようです。具体的にどうだということはまだ聞いておりませんが、少しでも市民の皆様と、コロナ禍に対して頑張っ行ってこうという気持ちになれるようなことに取り組んでいただきたいなと思っているところです。

以上2点についてお答えをさせていただきました。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上となります。これ以降の進行につきましては幹事社にお渡しをいたしますので、よろしくお願いいたします。

○幹事社

よろしくお願いいたします。まず1番目のコロナウイルスワクチンの関係なのですが、4月12日、26日それぞれに487人分ずつということですが、対象者は5,900人ほどいらっしゃるということですよ。

○市長

はい。85歳以上で5,900人ほどになります。

○記者

このなかでの優先順位はどのように決定するのですか。

○健康課長

私から説明させていただきます。85歳以上の方5,955名ほど予定しておりますが、そこをさらに分けるとことは考えておりません。85歳以上の方に対してまずは接種券をお送りして、コールセンターで受け付けをさせていただくと考えています。ただワクチンの量が限られている関係で、予約枠も限られておりますので、そこは埋まってしまえば受け付けた順で次のワクチンが入ってくればということで予

約するようなかたちで整理をさせていただくことを考えています。

○記者

受付順と考えてよろしいですか。

○健康課長

そのようなかたちになります。

○記者

4月10日の模擬訓練を予定しているということですが、場所は決まっているのですか。

○市長

すこやかセンターです。

○記者

2番目の上杉まつりですが、これは延期ということで良いのですよね。

○市長

はい、延期です。最初に中止と申し上げましたが、延期です。

○記者

去年に引き続き延期ということで、経済的な影響が心配ですが、消費喚起策なども必要かもしれないとおっしゃっておられましたが、市長としてはその辺のお考えはありますか。

○市長

当然、大イベントでありますから、県外のお客様も大勢おいでになって、周辺の旅館やホテルもほぼ満杯という経済効果がありますし、また、外で色々なものが消費されるということで、具体的にどのくらいの経済効果ということは、今は頭にはないですが、その経済の波及がなくなるわけにありますので、非常に厳しい。また、当てにしておられた色々な業種、業界の皆様がおられると思いますが、その辺もなくなるということで非常に厳しいなど。ただその対応としまして、宿泊関係では市独自のキャンペーンをやっておりまして、これも好評で締め切ったという部分もあります。ただ4月にはやはりもう一度経済対策的なところで商工会議所と一緒にあって、内部で対応を検討しております。そういったもので経済が現状よりも少しでも回復するように努めていかなければならないと思っております。ただ春の上杉まつりのような効果がどこまで出せるのかということは分かりません。

○記者

高齢者の次に基礎疾患を持っている人が予定されているようなのですが、これは申告制ですか。それとも市で把握しているデータなどあるのでしょうか。

○健康課長

基礎疾患をお持ちの方は、市で把握しているデータではなくて、自己申告に基づきまして接種を受けていただくかたちになります。

○記者

それはどの段階で申告するのですか。

○健康課長

市からクーポン券をお送りしまして、その中に予診票が入っております。そこに記載をして、接種会場に予約していただいて接種会場に来ていただくという流れになります。

○記者

該当する病名とか年齢制限とか、そういう条件的なものはあるのでしょうか。

○健康課長

それは国が示しておりますので、それに該当した方ということになります。少し細かいですが、呼吸器の病気、心臓の病気、肝臓の病気などの慢性的な病気など色々ございますが、それに加えて肥満の方も対象になるということで、そのような部分に該当する方は記載をして予約をしていただいて、会場にお越しいただくということになります。

国から精神疾患や知的障がいの方も優先順位の接種者になるということが示されましたので、その辺も後日市民の皆様にお知らせしていく形になります。

○記者

ワクチンの方針について念のための確認です。近隣の自治体に限らず、高齢者からではなく介護施設を優先するという選択をしている自治体も出ていると思います。今の米沢市の状況を聞くと、ワクチンの供給量がわからないので介護施設の接種はいつになるかわからないという状況にあると思うのですが、やはり介護施設を優先しますという方針に変更する可能性はありますか。その確認をしたいと思います。

○健康課長

医師会と様々な協議をさせていただいてきました。今おっしゃったように高齢者の介護施設から始めるというところもありますし、集団でやる、個別からやるなど様々な方式がございますが、最終的には「高齢者から先に、集団で始めましょう」ということで医師会様と協議させていただいた結果で準備を進めさせていただいております。

これはワクチンの供給量が少ないものですから、その辺も鑑みまして、まず集団から実施していきたいということで米沢では準備を進めているところであります。

○記者

もう1点ですが、85歳以上となると独居の人であれば大変だと思いますし、家族がいても自ら判断して予約をするというのは難しい人が多いと思います。そういう対象者に対して、市としてはどう寄り添ってサポートしていくおつもりですか。

○健康課長

確かにご自身で予約することが難しい高齢者の方がたくさんいらっしゃいますので、まずご家族、ご近所の方のお力添えをいただきながら、あとは民生委員にも、ぜひ高齢者の方の手助けをということでお願いをして、接種の予約等していただければと思います。

○記者

接種の予約に LINE を使ったシステムをお考えのようですが、今問題になっている件についてお考えをお願いします。

○健康課長

ワクチン接種の予約システムに1つのツールとして LINE での予約が入っております。その部分につきましては国の報道等ございましたので、今業者と検討させていただいております。今後 LINE での予約を引き続き実施していくのか、LINE の予約は除いて電話と直接等の申し込みだけで行くのかは、もう少しお時間をいただいて判断をしていきたいと思っております。

○記者

いつぐらいまでという目途はありますか。

○健康課長

最終的にいつまでとは決めていないのですが、なるべく早い時点で決めなければならないとは考えています。

○記者

まもなく発送ですよ。

○健康課長

そうです。今の予定では4月に入ってから発送を予定しております。そのまま予約の受付開始、接種という流れで行きますので、その流れに支障の無いように、検討していきたいと考えています。

○記者

今クーポン券の発送が4月に入ってからとおっしゃいましたが、具体的に4月のいつごろからというのは固まっているのでしょうか。

○健康課長

詳細は広報でもお知らせいたしますが、今の予定では4月の中旬、13日頃と予定しております。詳細は広報でお知らせをする準備をしておりますので、そちらをご覧くださいと思います。

○記者

4月の13日頃から開始ということでよろしいですか。

○健康課長

開始ということではなくて、85歳以上の高齢者の方に、まずは第1弾として接種券をお送りしたいということで準備をしております。

○記者

85歳以上の方へのクーポン券の送付が13日頃の1日で終わるものなのか、それとも13日頃からある程度幅をもって行われるものなのかという意味で「13日から開始か」という質問をさせていただいたのですが。

○健康課長

発送は1日で終わる予定をしております。先ほども申し上げましたように、約6、

000名弱でございますので、段階的に区切って、まず第1弾は1日での発送が可能であろうと考えております。ただ一斉に発送しても次の日届くところ、届かないところございますので、大体3日くらいの間で全員にお届けできるのかなと想定しております。4月13日頃の発送を予定しております。

○記者

承知しました。市長に改めてお伺いしたいのですが、今回の新型コロナのワクチンの事業で市長として一番重きを置きたいところ改めて教えていただけますでしょうか。

○市長

一番懸念しているのは、これから段取りをして効率的に接種体制に入りたいと思っておりますが、接種体制に入る準備をして、今発送の話もありましたが、ワクチンの供給量が少ない。ですから、85歳以上の方に4月の13日に接種券を発送しますが、おそらく975人分、それしかない訳でありますので、おそらくコールセンターとかそういったところに申し込みが殺到するのではないかなと思っております。そういったところでもう少し高齢者の方から見ますと「接種券の予約の案内が送られてきたのに、どうして早くできないのか」という思いをなさる方がおいでになるのではないかなと思っておりますので、一番望むところはもっとワクチンの供給を増やしていただきたい。そのことによって医師会とも十分に集団接種も含めてそれぞれの診療所で個別接種をしていただく体制なども、それぞれの診療所の先生方が対応を考えていただいておりますので、そういったことで順調にワクチンが供給されるようになれば、医師会との連携も含めて接種が進んでいくと思っておりますので、1番心配しているのはワクチンの供給があまりにも少ないということを心配しております。

○記者

そのうえで、先ほど市長のお話でコールセンターに連絡が殺到するのではないかという懸念もありました。市民への呼びかけはどういうものをお考えですか。

○市長

まず第1弾としましては4月1日号の広報でお知らせをする訳であります。ただ、どこまでこの広報によって周知されるかということもありますので、先ほど85歳以上の方なかなか実際に対応しきれない部分もあるのではないかというご質問もあった訳でありますので、関係者の皆様も含めて、米沢でも接種が何日から始まるかということについては、民生委員も含めまして色々な方々にそういうお知らせをしながらワクチン接種に対しての徹底を図っていきたいと考えております。

○記者

市長のお言葉として市民にワクチン接種に関して呼びかけたいことがあればお願いします。

○市長

新型コロナウイルス感染症を少しでも早く収束させたい。その1つの大きな手段としてワクチン接種がある訳でありますので、順次高齢者の方々からということになり

ますが、多くの市民の皆さんに接種を受けていただきたい、というお願いが私の今の気持ちであります。

○記者

多くの人に受けてもらいたい、でもワクチンの量は限られているという、なかなか苦しい状況でジレンマがあるかと思いますが、そのあたり市民にもしも落ち着いた行動をお願いするなどの呼びかけがあればお願いします。

○市長

そうですね、いよいよ米沢市でもワクチン接種が4月の中旬から始まる訳ですが、何しろワクチンの供給量があまりにも少ないものですから、市民全体にいきわたり、接種の機会ができるというのはまだまだ先になると思います。当面高齢者の皆様を中心にワクチン接種を行ってまいります、その高齢者の皆さんの分にもまだ供給量が足りないということでもあります。随時体制をしっかりと整えながら、予約をしていただくこととなりますが、全部にいきわたるといのはもう少し時間がかかりますが、まず市民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

○記者

いつもは米沢市の成人式は5月に予定されておりましたが、今のところ今年は5月の連休中にやる予定ですか。

○市長

今のところは成人式について延期とか中止とかそういった判断はしておりません。やる予定でいると思っております。

○記者

LINEの情報発信について米沢市ではやっておられると思うのですが、LINEPayでの支払いとか色々問題が出てきていて、どうするかというところについてどのようにお考えですか。

○市長

先ほどコロナ関係でのそういう対応もあった訳でありましたが、やはり国全体がそういう方向性になってきておりますので、米沢市も市民の皆さんに当然影響が出ないように、LINEではそこまで難しい情報を流している訳ではありませんが、ただそこは気を付けて今後どうするか判断したいと思っております。

○記者

今すぐ中止というようなことは考えていないということですね。

○市長

そうですね。そこまでの報告は受けておりませんし、私からも指示しておりません。

○記者

LINEの件で、現状市役所で活用しているLINE、庁舎内での連絡ツールとしてのLINEもあるかもしれませんが、現状というのはどのように捉えているのでしょうか。

○秘書広報課長

私からお答えします。LINE につきましては、秘書広報課から各課からの情報を纏めて市民の皆様にも週 1 回から 2 回情報を発信するというような使い方をしてのみであります。LINE 社からの通知が来まして、本市のようなアプリケーションの範囲の使い方であれば、今回問題になっている中国からの個人情報の読み取りのような問題は該当しないと文書をいただいています。今後については防災情報やワクチンの申し込みというようなことを、始めようかというようなところでありまして、まだ始めておりませんので、本市としてはその部分に該当はしていないと考えています。

○記者

決済情報はもしかしたら情報漏洩される可能性が出ていたのですが、上下水道代について米沢市ではたしか LINEPay を使っていますよね。

○秘書広報課長

水道のことに関しては情報を持ち得ておりませんので、何とも申し上げられないところです。

○記者

山形市の緊急事態宣言が今出ている状況です。村山市など今日もかなりの感染者数が出ています。これに関して、どのように捉えていて、改めて市民にどう呼びかけたいかということをお伺いしたいです。

○市長

山形市並びに山形県が緊急事態宣言をしたと。これは山形市がメインになると思っております。米沢市も以前クラスター的なものもありましたが、市民の皆様のご協力をいただいて何とか拡大しなかったというところに、私は常々市民の皆様のご協力に感謝していると申し上げております。

今そういった状況以上のものが山形市の中で起きているということでもありますので、米沢市長として言えることは、山形市は県都でありますので、色々な行き来が多いと思うのです。今も山形市と仙台市も大変な状況になっておりますが、県都同士が隣接しているというエリアで、米沢以上に山形と仙台の行き来も多いということも 1 つの要因になっているという報道もございます。今、自粛できるものはしっかりと自粛しながら、感染拡大防止に努めていただきたいなど。やはり山形市は県都でありますから、米沢市も色々な意味で影響を受けますので、そういった面で 1 日も早く緊急事態宣言が解除されることを願っております。

○記者

これに伴って、市長はじめ山形市への出張が消えたなどということはあるですか。

○市長

あります。内容的なものは別にしまして、3月30日に山形市に行く予定でしたが、取りやめました。

○記者

その辺、業務的な影響というのも懸念はありますか。

○市長

市町村と市町村の関わりもありますし、市町村と国との関わりもありますので、米沢市だけで行政が完結できるものであれば良いですが当然そうはいきませんので、不要不急という部分の関連もありますが、影響は本当にあります。

次の公務がありますので、そろそろよろしいでしょうか。何か細かいことがありましたらよろしく願いいたします。ありがとうございました。

○秘書広報課長

これを持ちまして令和3年3月の定例記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。